

■ 目標値未達成の要因について

法人名 | 公益財団法人西成労働福祉センター

[1]

成果測定指標	単位	R6年度目標値	R6年度実績値	目標値との差
雇用条件の向上を図った求人の紹介件数	件	2,300	1,856	△ 444

未達成の要因		要因分析(要因と考える根拠)							
①	窓口(契約)求人の紹介総数の状況においては、前年より増加しているものの、「向上を図った求人」の紹介数が伸び悩んだため、目標達成に至らなかった。	<p>・令和6年度の実績数1,856件は、令和5年度の実績数1,829件とほぼ横ばいの傾向となった。</p> <p>・令和6年度で向上を図った求人の紹介数を伸ばすために新たに雇用条件の向上の要件として①「刑余者の受入れ可能事業所」②「技能講習受講推進事業所」③「賃金の前倒し」を設定し、事業者への積極的な働きかけに努めたが、①については、協力事業所は見つかったものの対象となる求職者が現れず、実績につながらなかった。</p> <p>また、②についても、働きかけを行ったが積極的に受講を促す事業所が見つからなかった。</p> <p>③については、求職者の声を反映したものであったが、「初めて働く者には貸しづらい、何回か就労した者でないと難しい」との事業所の声が多く、雇用条件の向上につながる求人の実績につながらなかった。</p>							
	関連項目名	窓口(契約)求人の紹介総数	単位	件	R6当初想定値	3,146	R6実績値	3,009	差

要因分析を踏まえた今後の対応
<p>・事業所巡回指導、事業所訪問、事業所座談会など、事業者と接する機会があるごとに、条件向上を依頼する。</p> <p>特に、これまで紹介実績のある事業者には違う向上条件の提案を、紹介実績のない事業者には「条件向上は人手確保になる手段」と強く訴えかけ条件提案し、紹介へと繋げる。</p> <p>これまで実績が多かった「未経験者の受入れ」「賃金向上」「宿舍改善」を重点的に提案する。</p> <p>・令和6年度に追加した条件の内、「刑余者の受け入れ」については、保護観察所と連携し、出所前の求職相談を行い、受入れ協力事業所に依頼し、実績を伸ばす。</p>



■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人西成労働福祉センター

[2]

成果測定指標	単位	R6年度目標値	R6年度実績値	目標値との差
窓口(契約)求人の紹介総数	件	3,146	3,009	△ 137

未達成の要因				要因分析(要因と考える根拠)					
①	求職者が減少したため。			・「窓口(契約)求人の紹介総数」は、求職者が宿舎に住み込む形態の求人内容となっている。 ・あいりん地域における日雇労働者数の高齢化等により、求職者数自体が、昨年度よりも減少となった。 (なお、窓口(契約)求人紹介総数の実績は、昨年度より上回っている。) R5 求職者 4,795人 R6 求職者 4,558人					
	関連項目名	求職者	単位	人	R6当初想定値	4,795	R6実績値	4,558	差
②	下半期について、契約求人紹介まで至らないケースが多かったため			・上半期は、年度初めでまだ公共工事等の仕事がない(現金求人が少ない)こともあり、中小規模の現場を抱える事業所に住み込みで働くことを希望する求職者も多く、窓口(契約)求人の紹介につながったが、 下半期については、建設業経験者でその日のうちに収入を得ることができる現金求人希望する者や、また、体調不良や精神的疾患などを抱え、就労困難な状況にまで陥ってから相談に来る者が増え、就労よりも先に生活基盤を整える必要があり、契約求人紹介に至らないケースが多かった。					
	関連項目名	-	単位	-	R6当初想定値	-	R6実績値	-	差

要因分析を踏まえた今後の対応
【求職者の掘り起こし】 ・センターナビのユーザー数は約1万人、リピーター数は約2千人となっている。事業者情報や仕事内容、宿舎情報などの豊富な情報提供のさらなる拡充を図り、「働く意欲を促進」することで、紹介へと繋げる。 ・LINE公式アカウントの友だち登録者約550人に求人情報や早朝の求人状況、事業所の声やイベント情報などをタイムリーに発信し、友だち登録者をさらに拡大し、「今日仕事につきたい」求職者を呼び込むことで、窓口求人のマッチングを一層図ることで紹介数の増につなげる。 【求職者にあつた求人の確保】 ・求職者は、「あいりん地域から職場が近い」「短時間や短日数勤務という雇用形態」「日払い、週払いが可能な給料形態」を希望する者が多い。こうした地域特有の就業形態に対応した求人を幅広く確保し、様々なニーズや就労可能な条件に合った契約求人の紹介へと繋げる。 ・加えて、近年求人実績のない登録事業所に対して求人の掘り起こしを行う



■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人西成労働福祉センター

[3]

成果測定指標	単位	R6年度目標値	R6年度実績値	目標値との差
補助金比率の削減（補助金／経常収益）	%	85.0	86.7	1.7

未達成の要因		要因分析(要因と考える根拠)							
① 委託収益の減少	<p>・技能講習委託費（11,948千円減） 技能講習事業において、令和5年度までは、受講希望者がセンターで申込み後、別日の選考会で選考を受け、決まった受講日に講習機関で受講する「選考会方式」と、一部の講習において、申込みと選考を同時に行い、決まった受講日に講習機関で受講する「随時受付方式」とを併用して事業を実施していた。 また、「出張受付」（毎月第3土曜日に、5人以上受講希望者がいる事業所へ直接出向き、受付と選考を実施）を試行実施していた。 令和6年度は、さらなる受講者増を図るため、全ての講習を利便性の観点から効果があった「随時受付方式」に変更したところ、前年度より受講率は13.65%上昇した。 （尚、出張受付も本格実施を開始したが、事業者が、より利便性の高い「随時受付方式」を希望したため、出張受付を希望する事業者は見つからなかった。） しかし、それでも計画数に比べ、受講実績数は11.5%減少となった。働き方の多様化により一人親方など請負として働くものや社会保険の適用が求められる中で、日雇労働ではなく、正社員化される労働者も増え、技能講習事業の対象者となる日雇労働者数そのものが減少している影響で、当初予算で計上していた収益より11,948千円の減少となり、目標を達成できなかった。</p> <p>○令和5年度 受講計画数365人 受講実績数273人 受講率74.79% 当初予算（50,633千円）と委託収益（39,778千円）の差額△10,855千円</p> <p>○令和6年度 受講計画数320人 受講実績数283人 受講率88.44% 当初予算（50,428千円）と委託収益（38,480千円）の差額△11,948千円</p> <p>R6補助金（予算）／R6経常収益（想定） 308,216千円／363,213千円（84.9%） R6補助金（実績）／R6経常収益（実績） 273,939千円／315,994千円（86.7%）</p>								
	関連項目名	委託収益	単位	千円	R6当初想定値	50,428	R6実績値	38,480	差

要因分析を踏まえた今後の対応
<p>・令和7年度も引き続き、全ての講習を「随時受付方式」として実施し、より利便性を図る。 また、これまでホームページのみで広報していたが、LINE公式アカウントやセンターナビの利用者にも受講を促すため、LINE公式アカウントとセンターナビを活用した広報を積極的に行い、受講者の増加を図る。</p>